

## 屋敷林見学・植樹・掃除をしよう —記念講演「カイニヨの楽しみ方」をきく—

5月28日チューリップ公園内、中島家の「いろり」を囲んで総会を開いた。参加者は14名と少人数だったが、新年度の活動や新役員の選出を行ない、ねばり強く各行事に参加していくことを確認しあった。

上田砺波市長から祝電が寄せられた。総会后、南砺市立福光美術館長 奥野達夫先生の「カイニヨの楽しみ方」を効いた。当日の様相を富山新聞が次日報道した。

× × × × × ×

総会は、柏樹代表幹事が進行役をつとめ、冒頭挨拶（別項）をした。天野事務局長が平成22年活動報告と決算報告を行なった。中で特に全国屋敷林フォーラムの開催について丁寧にふりかえり説明した。その後、平成23年事業として、①南砺市の屋敷林と史跡めぐり（7月上旬）、②カイニヨの植樹（11月）、③カイニヨの掃除（平成24年3月）の活動案と「全国屋敷林フォーラム」の記録誌づくりを提案し承認された。

□会場から次のような意見が出された

- ・小説「ユートピア」で廃屋を改修し人が住んでいるくだりの内容にふれ、カイニヨと共に生きる今日的可能性をもらった。より一層空家のことを考えねばと思った。
- ・今年のフォーラムは予定されているのか——岩手県丹沢市で準備中と聞いている。
- ・岩手県のある農家の蔵の壁の補修に会員が参加していると聞いた。
- ・近日中に、砺波平野—散居村の暮らし—（仮）が放映される。これも会員の家である。

＜衛生デジタル放送局「BS JAPAN」6月25日（土）午後7時30分放映＞

日本を代表する写真家（富山県生まれテラウチマサト氏）が「未来に残したい日本の情景」をテーマにしている

× × × × × ×

また、新役員について提案された。この中で、代表幹事から「14年間ほぼ同じ体制でやっていると金属疲労してきた。特に事務局のご苦勞が大きく、交代でできないか相談したが、今回は次長を設けサポートすることにした。次の総会までには、新体制ができるよう協力願ひ実現に努力したい」と付け加えた。

□新役員氏名（平成23年～24年）

代表幹事：柏樹直樹

幹事：新藤正夫、出村忍、高畑邦男、小幡良和、金岡奈穂子

事務局長：天野一男

次長：高畑康子（新）

監事：杉森孝一（新）



記念講演会の様子

### 柏樹代表幹事の挨拶

- ・東日本大震災は、地球人の宿命であり、他人事ではない。
- ・レベルは違うが、毎年、豪雨・干ばつ・台風を体験し、たくさんの共生の智慧・工夫を積み出し、人間は生き抜いてきた。
- ・いつの間にかその人間は自然を支配できると思ひこむようになった。
- ・今度の震災は、その思ひこみの弱さをあばき、生き方の再考を求めた。
- ・カイニヨと付き合うことの意味も問われている。
- ・昨年全国屋敷林フォーラムを開催し、会員約30名の体かけた協力を得た。成果として新しい宿題もだされた。
- ・カイニヨ倶楽部も今年で14年目となった。活動を続けるために ①新会員を誘っている。②活動の中味を考えあう。③役員も交代しみんなが世話をしていく。ことを考えあおう。

## 奥野達夫先生の「カイニヨの楽しみ方」の要旨

- ・生まれは、福光町土生新「田の字型」のクズ屋、180年前に分家した。当時、一軒の家をもつために1~4代かけて普請（ふしん）にかかり、完成させた。
- ・現在は魚津の屋敷林のある家に住んでいる。その屋敷内の四季の花は最高。スイセン、チューリップは春のメインだ。薪ストーブを入れ、広間から庭を眺めると見事だ。
- ・カイニヨの中の暮らしは、東京の30代で子どものある女性が一番好む。
- ・東京は過密都市。異常な生活をしている。情報、お金、企業が集中しているが、本物の自然が全く無い。だから時間のある人は、ガーデニング、キルト、海外旅行をしている。
- ・今こそ、空家の活用、納屋の改修、蔵の模様替え等を、30代女性の感覚で行うことだ。外観のカイニヨをそのままにして内部を近代的にする。
- ・富山県は、立山で地震が少ない。カイニヨの下は山野草によい。うらやむようなカイニヨ生活出来る家を、2~3軒つくる。それは、都会の30代女性のセンスで自由にやってもらう。まかせる度量が必要。
- ・発想を変えるためには、都市の智力も借りること——都市の人を招き食事し、語り合う。例えば、干し柿の皮むき体験とラモベールでの集い、加積リンゴつみ体験と夜は漁師の料理、カイニヨ体験ツアーでリフレッシュと感動を提供する。
- ・都市の人は、本物の自然体験を望んでいる。今金沢で「自然と人」という雑誌が発行され、喜ばれている。とにかく質の良い客をカイニヨの家へ大いに招くことだ。

## 南砺市(福光)の屋敷林等見学会

梅雨の最中ですが、下記の内容で見学会を計画しました。是非、ご参加下さい。

1) 日 時 平成23年7月9日(土) 雨天決行

午前9時城端駅集合(申し込み必要ありません)

2) 見学内容

城端駅出発(自家用車乗り合わせで)

- ① 立野が原イチゴ園駐車場(9時10分)  
監的壕見学(9時25分から10時00分)
- ② 栗山悟様宅屋敷林見学(10時10分から10時40分)
- ③ 香城寺惣堂遺跡見学(11時00分から11時30分)
- ④ 城端駅前(11時50分着 解散)

3) 会 費 500円/一人 (当日集金)

4) 注意事項 歩きやすい靴と服装で

□下記に平成23年度総会資料を記し、昨年度事業報告・決算は承認されました事をお伝え致します。

## 平成23年総会資料 砺波カイニヨ倶楽部

平成22年5月1日~平成23年4月30日

1) 平成22年度事業報告

- ・7月25日 安曇野見学会(参加者34名)
- ・10月22・23日 屋敷林フォーラム(参加者250名)
- ・4月16日 高田宅カイニヨ掃除(参加者12名)



2) 平成22年度決算報告

■収入			
項目	金額	備考	
会費	72,000		
寄付	30,000	小泉様より	
フォーラムより	453,650	10月22・23日開催	
例会残金			
安曇野屋敷林見学会	22,532	7月25日開催	
カイニヨ掃除(高田宅)	700	4月16日開催	
利子	28	11+17県信	
雑収入	1,050		
繰越金	81,180		
計	661,140		
■支出			
項目	金額	備考	
総会費	4,680	お茶代	
フォーラム事務局へ	50,000	当倶楽部の負担金	
フォーラム報告書作成費	10,000	カラー印刷代	
例会費	0		
通信費	105,996	会報他送料代	
雑費	19,705	会報コピー他	
会議費	900	お茶8/18フォーラム会議	
事務費	25,000	天野1.5 金岡1.0	
計	216,281	繰り越し金	
収入-支出		661,140-216,281	444,859

なお、「屋敷林フォーラムのまとめ」を費用25万円程度で数百部作成中です。支払いは、繰越金を充当致します。

3) 会計監査報告

5月/8日に会計監査をしたところ、適切に処理されていた事を、ご報告致します。

監事 和田 建